

NAPROCK International Procon 2017

- 課題・自由部門 -

参加者向け追加情報

NAPROCK International Procon 課題部門・自由部門への参加者は、この文書を熟読の上、指定された締め切りまでに必要な書類をすべて提出してください。また、この文書は大会参加中も必ず携帯してください。

1. 今後の重要な日程

8月25日(金)	パンフレット原稿，システム等の調書の提出〆切
9月22日(金)	プログラムソースリスト，操作マニュアルの提出〆切
10月8日(日)・9日(月)	プロコン本戦開催日（会場：周南市文化会館（山口県周南市徳山5854-41））

2. 文書の提出について

(1) パンフレット原稿 (提出〆切: 2017年8月25日)

- ✓ NAPROCK International Proconに参加するチームは必ずパンフレット用の原稿を提出してください。
- ✓ 原稿の作成には、指定のサンプルファイル (07TO_SampleGuidebook.docx) を使用してください。
- ✓ サンプルファイルには、原稿作成上の注意事項が書かれています。
- ✓ サンプルファイルに記載された注意事項をよく読んで原稿を作成してください。
- ✓ 原稿はMS-WORD (docx)ファイルで作成し、指定の〆切日までに提出してください。指定のファイル形式以外で提出されたもの、または〆切を過ぎて提出されたものは、提出を受理できない場合があります。
- ✓ 原稿は指定のサーバにアップロードしてください。サーバにアクセスするためのID、パスワード、URLは別途通知します。

(2) システム等の調書 (提出〆切: 2017年8月25日)

- ✓ NAPROCK International Proconに参加するチームは必ずシステム等の調書を提出してください。
- ✓ システム等の調書は指定のファイル (08_SystemDeclarationForm.docx) を使用して作成してください。
- ✓ システム等の調書には、使用するPCや周辺機器、その他の装置等の機種名、台数等をできるだけ詳しく記述してください。これらの情報は会場の設営のために必要です。
- ✓ 特別な機器を使用する場合は、その機器の仕様も詳しく記述してください。
- ✓ デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。
- ✓ 調書はMS-WORD (docx)ファイルで作成し、指定の〆切日までに指定のサーバ（上記のパンフ

レット原稿と同じサーバ) にアップロードしてください。

(3) プログラムソースリスト (提出〆切: 2017年9月22日)

- ✓ NAPROCK International Procon に参加するチームは必ず開発したプログラムのソースコードを提出してください。
- ✓ A4 用紙 (縦置き横書き) とし, PDFに変換したものを提出してください。
- ✓ 指定の表紙 (09TO_CoverSheetSourceCodeList.docx) を必ず付け, 部門名, 作品タイトル, 学校名, 学生名, 指導教員名を明記してください。
- ✓ 本選では, 提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので, 体裁を整えてください。
- ✓ ソースコード提出後に大きくプログラムが変更された場合は, 審査結果に影響が出る場合があります。
- ✓ PDFファイルのファイルサイズは**100MB** 以内とします。
- ✓ PDFファイルは指定のサーバ (上記のパンフレット原稿と同じサーバ) にアップロードしてください。

(4) 操作マニュアル (提出〆切: 2017年9月22日)

- ✓ 課題部門・自由部門 に出場するチームは, 開発したソフトウェアの操作マニュアルを提出しなければなりません。
- ✓ 起動から終了までのすべての手順を, わかりやすく記述してください。
- ✓ 本選では, このマニュアルを見て, 審査委員など初めてシステムに接する人が実際に操作し, 審査の対象となります。
- ✓ 指定の表紙 (11_CoverSheetOperationManual.docx) を必ず付け, 部門名, 作品タイトル, 学校名, 学生名, 指導教員名を明記してください。
- ✓ 操作マニュアルはA4用紙 (縦置き横書き) で表紙を含めて12ページ以内とし, PDFに変換したものを提出してください。また, ページ番号を必ずつけてください。
- ✓ PDFファイルのファイルサイズは**100MB** 以内とします。
- ✓ PDFファイルは指定のサーバにアップロードしてください。

3. 本選のスケジュール

10月7日 (土) : ホテルへのチェックイン/受付

10月8日 (日) :

<u>8:00</u>	<u>開場予定時刻</u>
<u>8:15- 8:25</u>	<u>課題・自由部門 参加者連絡会議</u>
8:30- 8:50	競技部門 参加者連絡会議
<u>8:30- 9:05</u>	<u>課題・自由部門 システム搬入チェック</u>
<u>9:20-10:00</u>	<u>開会式</u>
<u>10:10-10:40</u>	<u>課題・自由部門 システムセッティング</u>
10:10-13:00	競技部門 予行演習

10:10-16:50 課題・自由部門 プレゼンテーション審査
10:40-17:00 課題・自由部門 デモンストレーション（一般公開）
14:00-16:50 競技部門 1回戦

10月9日（月）：

8:00 開場予定時刻
8:05- 8:15 課題・自由部門 参加者連絡会議
8:05- 8:20 競技部門 参加者連絡会議
8:15- 8:45 課題・自由部門 システムセッティング
8:30-14:00 競技部門 敗者復活戦・準決勝・決勝
8:45-12:00 課題・自由部門 デモンストレーション審査・マニュアル審査
9:00-14:00 課題・自由部門 デモンストレーション（一般公開）
14:00-14:20 課題・自由部門 システム梱包および業者引き渡し
14:30-15:00 特別講演会（日本語）
15:10-16:00 閉会式
18:00以降 日本人学生との交流会（オプション）

10月10日（火）：チェックアウト／観光ツアー（オプション）

4. その他の注意事項

(1) プレゼンテーションについて：

- ✓ システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどについてプレゼンテーションによる審査を行ないます。
- ✓ 発表は1名で行ないますが、パソコンの操作要因としてチームメンバーが補助しても構いません。
- ✓ 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴が鳴り、発表終了となります。
- ✓ 接続可能なコネクタはミニD-SUB15pinのみとします。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- ✓ パソコンの接続および操作は発表チームの学生が行なってください。
- ✓ プレゼンテーションツールを使用する場合、ナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行なってください。ただし、発表全体の構成上、必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- ✓ 発表を行うセッションが始まる前に発表者は会場で待機しててください。
- ✓ 発表者はパソコンを起動し、すぐに発表できる状態で準備しててください。
- ✓ 審査員の質問には発表者だけが答えてください。
- ✓ 必要であれば、日本語での質問に対し通訳を行なうことがあります。

(2) デモンストレーションについて：

- ✓ 期間中、デモンストレーション会場で、システムのデモンストレーションを行ないます。一般

公開とデモンストレーション審査、マニュアル審査が行なわれます。

- ✓ デモンストレーション審査は、審査委員がグループに分かれて巡回する形式で行います。審査時間は説明2分、質疑応答が5分の計7分です。
- ✓ マニュアル審査は審査委員1名で行い、マニュアル通りにシステムが動作するかチェックを行います。
- ✓ 一般公開は、デモンストレーション審査、マニュアル審査と並行して行われます。
- ✓ デモンストレーションブースのシステムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。システム概要を説明するポスター等を掲示してください。ポスター等にはシステム名（タイトル）を明示してください。
- ✓ パネルのサイズは幅180cm×高さ180cm程度ですが、下70cmは机を設置した場合には見えなくなります。展示物を固定するピンやロープ、フック等は各自で準備してください。主催者側では提供しません。
- ✓ 各作品は、幅180cm×奥行150cm×高さ240cmの範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行なってください。
- ✓ 机は幅180cm×奥行45cmのものを2台設置します。必要がなければ、机をなし、または1台だけにすることもできます。椅子の個数も0～2脚から選択できます。
- ✓ システムの梱包に用いた箱などは机の下に置いてください。
- ✓ 机の下にコンセントを少なくとも一口は準備します。それ以上必要な場合は、テーブルタップ等を準備してください。
- ✓ ブース当たりの合計電力容量は300W以下です。
- ✓ 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用（対外接続 100Mbpsのベストエフォート）のLANケーブルを1本用意します。
- ✓ 各ブースには説明者を常に2名以上配置してください。
- ✓ 2日目のデモンストレーションが終了したら、各ブース内をきれいに片付け、ゴミや忘れ物などを残さないようにしてください。

(3) 審査・採点方法：

- ✓ プレゼンテーション審査では、独創性を最重点要素とし、システム開発技術力（プログラムソースコードを含む）、記述力、発表能力、有用性等を総合的に審査します。評点は、A (6pts), B (3pts), C (1pt) の3段階評価とします。
- ✓ デモンストレーション審査では、独創性を最重点要素とし、技術力、有用性、操作性、発表能力、パネル等掲示内容、完成度等を総合的に審査します。評点は、A (6pts), B (3pts), C (1pt) の3段階評価とします。
- ✓ マニュアル審査は、正確性と記述力について審査します。正確性の評点は下記の5段階評価とします。
 - A (7pts): マニュアル通りにシステムが動作する。
 - A' (5pts): マニュアル通りにシステムが動作するが、説明を受けないとわかりにくい。
 - B (3pts): システムの一部がマニュアル通りに動作しない。
 - B' (2pts): マニュアル通りに動作しない箇所が複数ある。
 - C (1pt): マニュアルとして不備が目立つ。

また、記述力はA (3pts), B (2pts), C (1pt) の3段階評価とします。

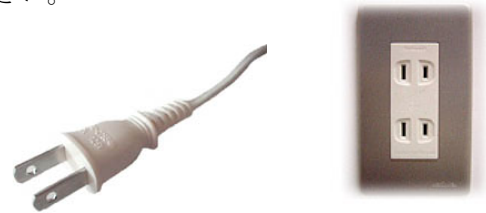
- ✓ 各審査委員がそれぞれ採点を行い、結果を合計してチームの総合得点とします。

(4) 知的財産権について：

- ✓ 作品の制作および発表にあたっては、知的財産権を侵害しないよう十分にご注意ください。
- ✓ 作品に関する著作権は参加者に帰属します。
- ✓ 提出していただいた書類やデータ、会場で撮影された写真やビデオなどの一部は、大会期間中または終了後に、公式ウェブサイト、次年度のプロコンパンフレット、あるいはその他の教育目的に使用させていただく場合があります。
- ✓ 大会当日に、著作権の利用に関する許諾について同意する書類（同意書）に署名していただきます。

(5) 日本の電源プラグについて：

- ✓ 日本国内で使われている商用電圧は交流100ボルトです。
- ✓ 交流電流の商用周波数は60ヘルツです。
- ✓ ドライヤー、アイロン、シェーバーなど、旅行用の小型の電子機器で、100-240Vなど汎用の電圧に対応した製品はそのまま使用できますが、そうでない場合は、電圧を変換するための降圧器が必要となりますので、参加者責任で準備してください。
- ✓ 日本国内では、柱状のプラグや3ピンのプラグは使用しておらず、図のような平板な2ピンのプラグが使用されています。つまり、日本の電源プラグの形状は、北米で用いられる絶縁端子のない2ピンプラグと同じものです。
- ✓ 必要に応じて電圧変換器（降圧器）およびプラグ形状変換アダプタを自身の責任でご用意ください。主催者側では用意しませんのでご注意ください。



(6) 会場利用上の諸注意：

- ✓ 会場は一部の認められたエリアを除き、飲食禁止です。
- ✓ 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。紛失等の場合、主催者は一切の責任を負いません。
- ✓ デモンストレーション会場、プレゼンテーション会場、競技会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話等のスイッチを切ってください。

5. 問合せ

この文書の内容に関するすべての質問は下記連絡先まで電子メールでお送りください。

naprock-procon@tokyo-ct.net